

ディプロマ・ポリシー			カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>本学部・学科では、本学ので定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士（教育学）の学位を授与します。</p>			<p>本学部・学科は、学生一人ひとりが自らのキャリアプランに則して履修することで、幅広い教養と奥深い専門的知識に基づく思考力や判断力を養い、教育・保育実践のために必要な熱意や責任感、そして技能を身につけることをめざします。本学科が掲げる教育目標とディプロマ・ポリシーを達成するため、「小学校教育コース」、小学校・中学校教育コース（国語専修・英語専修）、「幼児教育・保育コース」および「国際教育コース」という4つのコースを設け、「共通教育科目」「基礎教育科目」「専門教育科目」にわたって、「学科演習科目」「初年次コース共通科目」、コースごとの「基礎プログラム」「発展プログラム」などからなる教育課程を編成します。</p> <p>「共通教育科目」は、現代の教育・保育を支える幅広い教養的知識を身につけ、的確な判断力を養うとともに、人間性の涵養を図るための科目群です。「学科演習科目」は、1年次から4年次までを通して、クラス担任またはゼミ担当教員の指導のもと、問題や課題を解決する力とともに、学生が自ら調べ、考え、まとめ、表現する能力を養う科目群です。</p> <p>「初年次コース共通科目」は、1年次に開講され、現代の教育・保育を支える幅広い教養的知識を身につけ、的確な判断力を養うとともに、人間性の涵養を図るための科目群です。</p> <p>「基礎教育科目」は、主に1年次に開講され、外国語運用能力や情報処理能力、健康や運動に関する知識や技能など、学士として必ず身につけておかなければならない資質の基礎を養う科目群です。また、4つのコースに分かれる前の共通科目として開設され、教育者・保育者になるための基礎となる科目群です。</p> <p>「専門教育科目」は、主に2年次以降に開講され、4つのコースに分かれて履修します。全コースに、「基礎プログラム」と「発展プログラム」が設けられています。</p> <p>「基礎プログラム」は、小学校、中学校あるいは幼稚園教諭としての知識・技能・態度を身につけるため、教育職員免許法に基づいた必修科目および選択科目で構成されています。</p> <p>「発展プログラム」は、一人ひとりの「強み」を育てるために選択必修あるいは選択科目により構成されています。それぞれのコースにおいては、教育に関する基礎理論や教科内容論に関する科目、保育内容の基礎的科目をはじめとして教科指導法などの応用的・実践的な科目や、より専門的な内容の科目への履修へと進み、さらに教育・保育実習、教職実践演習を履修するというように、適切な順序性をもって開講期を設定します。発展プログラムでは、学生自らが「強み」を身につけるために主体的に選択して学べるように、いずれのコースにおいても多彩な選択科目を開講します。</p> <p>副免許・資格プログラムとして、小学校教育コースには「幼稚園教育プログラム」と「特別支援教育プログラム」を、幼児教育・保育コースには「保育士プログラム」を、国際教育コースには「中学校教育（英語）プログラム」を設け、教育職員免許法・児童福祉法施行規則に基づいた科目を履修できるようにします。ただし、各コースで学ぶべきことを適切な順序性を持って学べるように、基礎免許のための必修科目は3年次後期の「教育実習」までに集中的に学び、副免許のための必修科目は主に3年次後期から4年次にかけて履修できるように開講期を設定します。</p> <p>国際教育コースには、グローバル化に伴う教育ニーズや教育環境の変化に応える人材を育成するため、多文化共生社会への移行、国際的な教育援助、海外（帰国）子女教育、グローバル・シティズンシップ教育を担い、国際的に貢献できる教育者を養成する「国際教育プログラム」を設けます。</p> <p>2年次後期には、希望者を対象に、海外の教育を体験的に学び、英語運用能力を高めるMUSC留学プログラムがあります。</p> <p>教育課程全般を通じて、グループ・ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等のアクティブ・ラーニングの教育方法も活用し、学生の理解と実践力を高めます。</p> <p>教育課程の評価については、卒業研究および教員免許に係る実践演習科目における学修状況をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>	<p>本学部・学科は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>本学部・学科が育成しようとする資質・能力の基礎となる学力や思考力・判断力を有し、教育や保育について明確な目的意識を持って積極的に勉学に励もうとする意欲ある女性を受け入れます。また、本学部・学科では、小学校教諭一種・幼稚園教諭一種・中学校教諭一種（国語）（英語）・特別支援学校教諭一種免許状および保育士資格が取得できますので、特に教員や保育者として活躍するための資質・能力を高めようとする熱意や責任感を有する者を受け入れます。高い資質・能力を持つ教員または保育者となるためには、文系・理系という枠組みに捉われず、国語、英語、日本史、世界史、数学、化学、生物などの科目を幅広く履修し、確かな基礎学力を備えておくことを求めます。</p>
1. 知識・理解	1-1	現代の教育・保育を支える教養的知識を幅広く有している。		
	1-2	教育・保育に関する奥深い専門的知識を有している。		
2. 技能・表現	2-1	教育・保育の実践を行うために必要な技能を有している。		
	2-2	教育・保育に関わる多様な人々と積極的にコミュニケーションをとり、連携・協働することができる。		
3. 思考・判断	3-1	国際的視野に基づいた批判的思考力および創造的能力を備えている。		
	3-2	教育・保育に関する課題解決に向けて、様々な情報を統合し、論理的な思考と理性的な判断ができる。		
4. 態度・志向性	4-1	教育・保育に関わる熱意と責任感を身につけている。		
	4-2	教育・保育に関して、生涯にわたり学び、研究し続ける力を身につけている。		